

令和3年度 専門研修

情報システム開発委託管理

本研修では、情報システムの開発・委託管理のポイントに加え、電子行政に移行していくにあたって必要となる情報セキュリティや総務省が進めているシステム標準化の動向等、システム開発委託に関する専門的な知識を付与する内容となっています。



初学者に向けた基本的な内容が中心です。

【第1回】

8月2日（月）・3日（火）

【第2回】

8月23日（月）・24日（火）

※各回いずれも9：00～17：00

日程
(各回2日間)

対象

情報システムの開発や運用を委託する業務を担当する職員及びこれから担当する予定の職員【定員96名（各回48名）】

ねらい

効果的で透明性の高い情報システムの開発・維持のために、システム開発及び委託後の進行管理を円滑に行うための知識を習得し、職務遂行能力の向上を図る。

会場

特別区職員研修所
(千代田区神田相生町1番地 秋葉原センタープレイスビル4～6階)

カリキュラム

次ページ参照



受講される方は[事前アンケートのご提出](#)をお願いします。
詳細は、受入決定後に通知します。

カリキュラム ※各回共通

1日目（敬称略）

9:00~10:30

「地方自治体における情報セキュリティ」

【講師】 有限会社ゼークラフト
代表取締役 佐藤 淳

10:45~12:00

「国におけるシステム標準化の動向」

【講師】 武蔵大学 社会学部
メディア社会学科
教授 庄司 昌彦

13:00~17:00

（講義1）情報システム導入の基本と直近の傾向

- （1-1）アンケート結果の概要
- （1-2）情報システムに関する必要知識
- （1-3）システム関連部署とユーザー部署の役割
- （1-4）クラウド普及による影響
- （1-5）デジタルトランスフォーメーションの必要性

＜演習1＞必須知識の確認

（講義2）情報システム開発委託管理の概要

- （2-1）プロジェクト管理の基本
- （2-2）情報システム開発委託管理の全体像（3つの段階）
- （2-3）職務上の課題整理（1つ目の段階）
- （2-4）提案依頼から委託先の選定（2つ目の段階）
- （2-5）委託先との協力関係（3つ目の段階）

＜演習2＞情報システム開発委託管理における
段階別点検

【講師】 株式会社 学宣
主任講師 山田 豊文

2日目（敬称略）

9:00~17:00

（講義3）職務上の課題整理

- （3-1）職務上の課題整理の位置づけ
- （3-2）職務の現状把握
- （3-3）職務の流れと負担の把握
- （3-4）職務上の課題把握
- （3-5）職務要件の定義（2つのパターン）

＜演習3＞職務要件の定義
（パターン選択のために）

（講義4）提案依頼から委託先の選定

- （4-1）提案依頼のための必要情報
- （4-2）提案依頼書（RFP）の作成と発行
- （4-3）提案内容の評価方法
- （4-4）見積の構成
- （4-5）委託先の開発体制

＜演習4＞提案内容の評価基準
（見積評価を含めた検討）

（講義5）委託先の進捗管理からシステムの活用

- （5-1）契約に基づくシステムのライフサイクル管理
- （5-2）委託先の進捗管理
- （5-3）システム導入の進め方
- （5-4）システムの活用と保守
- （5-5）システム改修の必要性と準備

＜演習5＞委託先との協力関係
（良好な関係づくりのために）

★講義1から講義5までのまとめ★

【講師】 前掲 山田 豊文

計 2日間（14時間） ※途中昼休憩等有り

【担当】 特別区職員研修所 教務課 専門研修係 Tel03-5298-3923